

週刊

愛知民報

2023年
5月28日
第2634号

発行所 日本共産党愛知県委員会
〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
☎(052) 261-3461 (代表)
(052) 251-2925 (編集部) F A X (052) 261-6063
定価 月 400円 郵送料 336円 1部 100円
毎週日曜日発行 (第5日曜日は休刊)

愛知県議会5月臨時会 補正予算案審議

日本共産党

しもおく県議が本会議質疑・討論

愛知県議会5月臨時会が22日におこなわれました(会期は1日)。例年臨時議会は、議長などを決める人事案件のみですが、今年度は、補正予算案が計上され、議題となりました。補正予算案には、緊急の物価高騰対策がいくつか盛り込まれましたが、ほかに、①三菱スペースジェット事業撤退に対応する「航空機サプライヤー支援」、②「少子化対策としての結婚支援」の費用が計上されました。4年ぶりに日本共産党議席を回復した、しもおく奈歩議員(豊橋市)は、①②の案件に反対の立場から議案質疑と討論をおこないました。自民党議員が賛成討論を行い、起立採決が行われました。補正予算案は自民、公明、あいち民主(新政あいちから改称)、減税などの賛成で可決されました。しもおく氏の質疑・討論を紹介します。

スペース ジェット 撤退の後始末にも税金支出か？ 三菱重工に応分の負担求めよ

通告にしたがい、補正予算案についてうかがいます。

第一に、航空機サプ

ライヤーへの支援についてです。

エアロマート名古屋2023出展支援の拡大というところで、支援企業を30社から45社に拡大し、出展料について

通告にしたがい、補正でも企業の半額負担正予算案についてうかがいます。

数を増やし、半額支援から全額支援へ支援額も拡大されました。背景にあったのは前年10月の三菱重工、三菱航空機によるスペースジェット(SJ)の開発凍結方針の発表でした。大きな影響を受けた、三菱重工は、一般的にコロナ不況や中小企業支援だけではなく、SJ撤退による影響への対応だとの認識で良いでしょうか？

航空宇宙分野の国際的な展示商談会であるエアロマート名古屋は2年ごとに開かれており、2021年にも6月補正で出展支援が、今回のように対象企業が拡大されたと理解しています。

知事は、SJ量産に向けて先行投資をしている部品メーカーへの影響を懸念し、三菱重工に「丁寧な対応」を要請したと報じられました。

さて、いま航空機産業にとつては、コロナ禍を抜け出しつつある「需要回復期」であり、多少なりとも明るい見通しが持てるようになってきた時期です。

県として、必要な支援策を講じるのならば、その原因となった三菱重工のSJ事業撤退をしっかりと総括し、三菱重工に対し県がSJ事業に投じてきた県費の返還を求めるべきです。そこを伺います。

だからサプライヤーへの支援内容は一昨年の補正後の対象企業数や負担水準ではなく当初予算で示された30社、半額補助にしたものと思います。

しかし三菱のSJ事業には、国からは約500億円が投入されており、愛知県からも用地確保や駐機場整備などで少なくとも81億円以上が注ぎ込まれて

航空機サプライヤー支援

予算額 3256万6千円

●エアロマート名古屋 2023 出展支援の拡大
開催時期 2023年9月26日～28日(名古屋市中企業振興会館)、出展規模 30社(当初予算)⇒45社、出展料 25万円⇒全額支援

●人材確保に向けた取り組み

「採用戦略支援塾」の開催

就職活動をする学生や社会人を対象にしたフェアの開催、就職フェアで業界を紹介するセミナーの開催

※サプライヤー＝部品供給企業

航空機サプライヤーの支援拡大には、更なる県費の投入ではなく、その要因をつくった三菱重工に応分の負担を求めるべきではありませんか。

航空機サプライヤーの支援拡大には、更なる県費の投入ではなく、その要因をつくった三菱重工に応分の負担を求めるべきではありませんか。

5月臨時議会に提出された補正予算案に対する反対討論をおこなう日本共産党の、しもおく奈歩県議＝22日、愛知県議会本会議

